

寛政丸航海誌 第7号 2026

寛政丸

令和7年12月8日 一般質問
【令和7年11月定例会】こ
あ
い
さ
つ

日頃より、やしま浩久の県議会活動にご支援とご理解を賜り、心より感謝しお礼申し上げます。
能登半島地震から丸2年が経ちました。昨年はブルーインパルスが射水市沿岸部にも激励のため飛行し勇気をいただきました。

復旧・復興は進んでいるのでしょうか。復旧は解体、修繕などロードマップはできました。しかし復興となると、時間が経過すればするほど道は険しくなるものです。明日は我が身として、災害を風化させず、被災者・被災地に寄り添って、今年1年を過ごしたいと思います。

昨年、国政は石破内閣から高市内閣に代わりましたが、不安定な政権運営は変わっていません。令和8年度予算編成では混乱も続くのではないのでしょうか。県政においては、地震からの復旧・復興に加え、新たな総合計画、防災減災、人口減少、公共交通、県立高校の再編、成長戦略、産業振興など諸々の重要課題はありますが、新田県政はとても安定していると感じています。

令和8(2026)年度に入れば、県議会においても、4年任期の最終の年となります。昨年の組織議会において経営企画委員長を拝命し委員会運営等に尽力したいと思っています。

県議会のオープン化は重要であり年始にあたり、昨年の議会活動を取りまとめ、今年も県政報告をさせていただきます。是非、ご一読いただけたらと思います。

また、昨年末に放生津八幡宮祭曳山築山行事がユネスコの無形文化遺産へ登録されました。寛政丸の帆にこの明るい風を受け、新たな1年の航海へと出航致します。

最後になりますが、今年は情熱や変化を象徴した『丙午』エネルギーに満ちた年とされ、新しいことへの挑戦や、諦めかけていたことに取り組むと良い結果に繋がる年であると言われています。

皆様に『丙午』のご加護があらんことを祈り、良き1年をお過ごしいただきますよう心から願いまして、発刊のご挨拶と致します。

令和8年2月 やしま 浩久

2月 定例会 (予算特別委員会)

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕 県民との対話により、既存事業の見直しを図る官民協働事業レビューについて、令和6年度実施効果と令和7年度はどのように取り組むのかを問う。



〈南里経営管理部長〉 令和6年度見直し全体では、事業本数2割削減の目標を達成し、その効果額は33億円であった。令和7年度予算案では更に、約2,300万円を

削減しており、今後とも県民参加要素を強化しながら実施していく。

〔質問〕 県の情報発信について、公式ホームページ上での動画配信等が全国的な主流になりつつあるが、今後の取り組みについて問う。



〈川津知事政策局長〉 本県ではすしの動画や若年層をターゲットとした動画を制作・配信するなど、動画への

アクセスをよりスムーズにするとともに、広報マニュアル等を作成し職員研修を実施していく。今後とも動画チャンネル登録者数増加を図りながら、分かりやすく伝わる情報発信に取り組む。



〔質問〕 能登半島地震で被災した、伏木富山港新湊地区における港湾施設の復旧・復興現状と今後のロードマップについて問う。

〈金谷土木部長〉 富山新港の国際物流ターミナルや新湊マリーナ、海王丸パークなどでは地面の



〔令和7年2月定例会〕 令和7年3月11日
〔令和7年6月定例会〕 令和7年6月20日

予算特別委員会デジタルサイネージ使用

(出典：自己作成)

液状化や地割れが起こったほか、ガントリークレーンにも被害があり、関連する下水道工事との調整を行いながら、29 か所被害中、26 か所で復旧工事契約が完了し、11 か所では工事まで完了しており、残る3 か所も発注準備を進めている。浮き桟橋やガントリークレーンの復旧を夏までに終え、残る箇所についてはロードマップに示してある令和8年度末までを目指し、早急復旧に努める。

〔質問〕 港湾計画の改訂では、海王丸パークや現在利用されていない貯木場・緑地なども含めた港全体の整備検討が行われるべきと考えるが所見を問う。

〈金谷土木部長〉 富山港、富山新港、伏木港の3地区を一体とした国際拠点港湾としての機能が期待されており、長期構想を取りまとめ、本県産業の特性を活かしながら、日本海国際拠点港湾としての優位性を発揮できる港湾計画を策定していく。

〔質問〕 県道姫野能町線の射水市作道から高岡市能町間は、平成9年度の着工から既に28年が経過しており、地元自治体等からも早期道路開通、使用開始を望む要望書が提出されており、進捗状況について問う。

〈金谷土木部長〉 現在、西側牧野大橋の方から順次工事を進めており、金屋地区や作道地区において盛土の整備や用地買収を進めている。現時点で完成時を見通すことは難しいが、引き続き必要な予算確保と工事進行を期し、早期完成に努めていく。

〔質問〕 海王丸パークの魅力向上を図るため、射水市や民間と連携し、時代に沿ったリニューアルを進めるべきと考えるが、所見を問う。

〈新田知事〉 海王丸パークは開園から30年以上が経過しており、施設老朽化と利用者から求められるニーズも大きく変化してきており、令和7年度に民間事業者へのヒアリングを通して、具体的な官民連携の方向性を検討し、関係機関

と連携協力しながら魅力向上とにぎわい創出に努める。

〔質問〕 令和7年度に帆船海王丸大規模修繕に係る検討委員会が開催されるが、設置時期や開催スケジュール、委員構成、検討内容等について問う。

〈金谷土木部長〉 令和7年度は帆船海王丸保存活用検討委員会を設置し、調査結果を踏まえた上で、大規模修繕の具体的内容を検討する。検討会には、専門家をはじめ、観光の方、まちづくり、経済界及び教育関係などの参画を見込んでおり、秋までに3回程度を開催していく。

〔質問〕 物価高や人件費高騰による影響も踏まえ、大規模修繕には多額費用がかかることから、経済界や観光産業を中心に県民の理解と協力を求めることが必要と考えるが、所見を問う。



〈蔵堀副知事〉 前回（平成24年度）の大規模改修より、船自体の老朽化や物価、人件費高騰などにより、今

回の大規模修繕ではかなりの財源が必要となってくるので、県や射水市が財源を負担することは勿論だが、国内外からの広いご支援やクラウドファンディング等のあらゆる資金調達方法を検討していく。

『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕 防犯対策として、危険な場所を取り除いていくことが最大のポイントだと考えるが、民間パトロール隊によるホットスポット・パトロールの普及等に向けた取組状況と今後について問う。

〈竹内生活環境文化部長〉 令和2年に改定された「防犯上の指針」に、新たにホットスポット・



パトロールを盛り込み県内232地区に地区安全なまちづくり推進センターが設置され、住民に

よる地域パトロール活動が実践されている。県では実施調査により改善策検討ワークショップや事例紹介などの講演会を開催し、パトロール活動の充実を図っている。新たに各種防犯グッズの購入費用補助拡充や、ドライブレコーダーの設置費用を補助対象に加えるなど、支援の充実を行い、関係団体等と連携し県民総参加による安全・安心なまちづくりに努めていく。



(出典：富山県発表の公開資料)

『産業ビジョン』より
「国際化」を見据えた産業振興について



〔質問〕「とやま輸出ジャンプアップ計画」の重点品目である水産物・水産加工品の輸出について、どのような戦略で取り組むのかを問う。



〈佐藤副知事〉
富山湾漁業においては、漁獲量変動が大きいことや、国内マーケット縮小等の事由に

より、冷凍加工技術を駆使した高付加価値で安定した水産加工品輸出が必要不可欠である。県は水産加工業者や食品事業者と連携して、国際的な認証を取得するための補助や、輸出先の各国が設定している様々な規制に対応するための支援を行っていく。

〔質問〕北陸3県の連携によりインバウンド誘客促進など、観光振興の取組みがより効果的になると考えるが、所見を問う。

〈新田知事〉昨年、北陸3県でHOKURIKU+を開業できたことはとても良かった。秋には、北陸デスティネーションキャンペーンが行われ、



北陸新幹線敦賀開業効果を最大化するために3県共同プロモーションや周遊モデルコースの提案等を行った。

今後とも、北陸3県を一つのエリアとして連携し効果的にアピールしていく。

〔質問〕県内企業の休業・解散件数が令和6年度は479件と過去最多となったが、その要因と事業継続に向けてどのように取り組むのかを問う。

〈山室商工労働部長〉人件費上昇や原材料高騰による収益圧迫や経営者高齢化による事業承継断念増加等が考えられており、県としては重く受け止め、経営基盤強化や事業承継円滑化に向けて支援を行い、中小企業の持続的発展に全力を尽くす。





特別委員会

2月定例会

ブランディング対策特別委員会

【令和7年2月3日開会】

富山県ロケーションオフィスの取組みについて

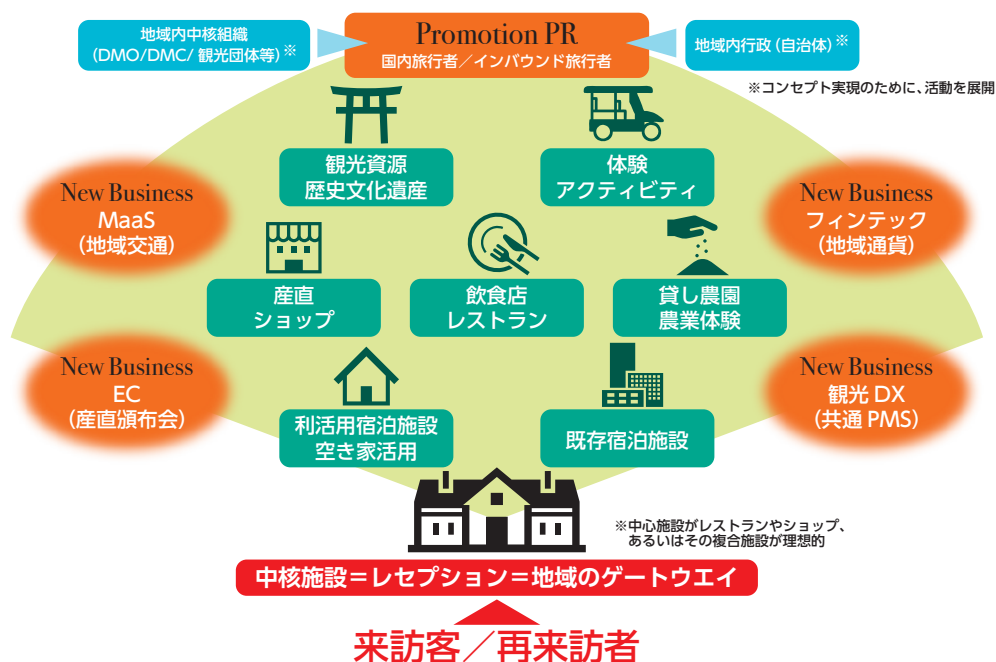
〈八嶋〉令和6年度に公開された映画やドラマなどで、富山県ロケーションオフィスが携わった撮影場所などと、令和7年度以降のブランド戦略の取組みについて問う。

〈齊木コンベンション・賑わい創出課長〉先般、富山県の食をテーマにした『コトコト』というテレビドラマが放送され、新湊漁協による実際の競りや新湊曳山祭の再現等、多くの方々にご協力をいただいた。本県の観光資源が映画やドラマ舞台やテーマとなることは、地域振興・観光振興はもとより、愛着の醸成やイメージアップ・移住の促進等、様々な効果が期待されるため、今後ともきめ細やかな誘致活動を行い、富山県の魅力を発信していく。

新湊周辺の観光ブランディング戦略について

〈八嶋〉令和7年4月、新湊に日本海側で初の「アルベルゴ・ディフーズ※」が誕生する。新湊周辺では、新鮮な魚介類や風情のある街並みを活かした新たな観光地づくりが進んでおり、県としても更なるブランド化を図る必要があると考えるが所見を問う。

〈宮崎理事・地方創生局次長・観光振興室長〉「アルベルゴ・ディフーズ」は、空き家の活用、観光客の回遊性^{P13}による経済効果の高まりなどが期待されている。令和6年11月に射水市と県が連携し、富山県成長戦略カンファレンスを開催し様々なセッション等を通じて県内外に内川の魅力を発信しており、今後とも関係機関と連携し選ばれ続ける観光地となるように取り組んでいく。



※アルベルゴ・ディフーズ…分散型ホテルをはじめとして、商店街・飲食店・海里山里等を一つの宿のように見立てる新たな滞在の形、及びそのコンセプトの下に形成された町。

6月 定例会 (予算特別委員会)

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



▶ P13

〔質問〕海王丸パークでの「行為許可」判断は、どのように確認して行っているかを問う。

〈金谷土木部長〉県は、港湾施設の管理上支障を及ぼさないと認める場合に行為許可を出しており、参加者が500名を超えるイベントについては、主催者側で近隣自治会への周知を行うことを定めている。また、交通整理員を必要数配置することや環境について節度を持って対応することなどを定めており、今後とも地域住民への事前情報提供などに十分配慮して進めていく。



『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕下水道管路の「全国特別重点調査」要請を踏まえ、対象の下水管はどれだけあり、どのように調査等を実施するのかを問う。

〈金谷土木部長〉県内に約200キロある流域下水道のうち、調査対象となるのは二上浄化センターに接続する3.4キロである。また、構造的に腐食しやすい管路2.8キロを令和7年夏頃までに調査し、処理水を放流する管路0.6キロの調査を1年以内に行う。調査方法は下水が流れた状態でも内部撮影ができるカメラを使用して診断し、機器確保を行い、早期に調査を終えるように努める。

〔質問〕県内の信号制御機は老朽化率が全国ワースト11位であり、過去5年間の更新件数と基準に基づく老朽化率の推

移について、事故やトラブル事例も含めて問う。

〈高木警察本部長〉更新は、令和2年度51基、令和3年度62基、令和4年度114基、令和5年度122基、令和6年度115基である。老朽化率は、令和2年度29.6%、令和3年度31.6%、令和4年度30.3%、令和5年度30.9%、令和6年度30.6%であった。また、故障は令和6年度9件発生し、起因する交通事故やトラブルは発生していない。



〔質問〕信号制御機の更新整備について、その意気込みや方針を問う。

〈高木警察本部長〉令和4年1月に策定した交通安全施設整備方針により、製造後26年を超過する信号制御機を対象に、毎年113基を目途に更新しており交通安全施設整備全般の状況把握を行いながら、計画的な更新整備や維持管理を推進していく。

〔質問〕避難所指定されている県有施設のマニュアル見直しや施設設備改善についての進捗状況を問う。

〈中林危機管理局长〉令和6年度末に避難所運営マニュアル策定指針を改定し市町村と関係機関に広く呼び掛けており、今年度「ワンチームとやま」連携推進本部会議で災害対応・危機管理体制の連携強化を推進項目として位置付けた。今後ともプロジェクトチームにおいて、避難所の生活環境整備に繋がるような改善を検討していく。

〔質問〕県内での山火事発生状況と、危機管理体制や具体的な取組みについて問う。

〈中林危機管理局长〉山林火災は、令和4年度1件、令和5年度2件、令和6年度0件であり、出火原因は落雷や焚き火などであった。予防対策として公式X等のSNSやホームページで注意喚起を行い、県消防長予防会においても情報交換を行っている。消防相互応援協定に基づき連

携・協力体制を整備しており、今後とも火災予防啓発活動を推進していく。

〔質問〕外国人消防団員の活動状況と外国人消防団に対する認識や課題について問う。

〈中林危機管理局長〉令和7年4月1日時点で外国人消防団員は11名で、定期巡回や訓練に参加している。課題は、公権力行使に該当しない範囲内での活動と言葉や風習の違いによるコミュニケーション不足が懸念されるが、一方で通訳・翻訳業務や外国語の研修業務、外国人住民の避難誘導や見守り等の活動に期待が持てる。外国人消防団員の増加及び技能を生かす事も重要であり、地域実情を考慮しながら配慮していく。

〔質問〕フリースクール通学する子どもの通学定期券発行や実習用通学定期乗車券の発行を行っている事業者の把握状況と保護者への周知も含めて問う。



〈田中交通政策局長〉あいの風とやま鉄道では、児童・生徒の在籍する学校長がフリースクールに通所した

日数を出席日数として認めた場合に、実習用通学定期券を発行しており、県、市町村教育委員会を通じて周知が行われている。県内交通事業者への取組みは保護者の声をきっかけに実現し、通学定期券が購入しやすい環境が進められたものと認識している。

『産業ビジョン』より
「国際化」を見据えた産業振興について



〔質問〕本県の優れた伝統工芸産業や地場産業の海外販路を積極的に開拓していくべきと考えるが所見を問う。

〈新田知事〉職人の高齢化や技術継承に加えて、

市場開拓や販路拡大が重要な課題と捉えており、令和6年度末に「伝統工芸文化継承・産業振興プログラム」という3ヶ年計画を策定した。海外販路開拓は重要であり外国人バイヤーを招聘してマッチング商談会を実施し、展示や製作実演を行い、国内外に積極的に発信し、今後とも関係機関と連携し本県産業の振興に取り組んでいく。



〔質問〕外務大臣・知事共催レセプション開催事業が6月補正案に計上されたが、具体的な内容と期待する成果についての所見を問う。

〈新田知事〉「飯倉公館活用対外発信事業」を都道府県と共催し外務省が年数回行っており、世界各国からの招待者に向けて、能登半島地震復旧・復興の取組みも含め、本県の食や自然、文化、産業などの魅力をPRするために、6関係部局により限られた時間と予算で行っていく事業である。海外からの誘致や本県産業の海外展開促進につながれば良いと考える。

〔質問〕地震によりベニズワイガニ漁獲量が大きく減り、影響を受けた漁業者に対して県の継続的支援が必要と考えるが所見を問う。

〈津田農林水産部長〉国の補助金を活用して漁具の新規購入取得が完了した。漁獲量減が大きい漁場漁業者に対しては、一定面積当たりの生息数の調査などの情報提供を行っている。資源への影響が長期間に及ぶことが考えられるため、引き続き持続的な支援を行っていく。

〔質問〕農業補正予算や農業支援サービス緊急拡大支援事業による農家への支援内容と期待する効果を問う。

〈津田農林水産部長〉農業支援サービスは、生産性向上支援などのサービスを対価を得て農業者に提供し、技術面・経営面での支援を行う新たなサービスである。農業用ドローンの導入経費や操作講習の受講料を補助するものや、人材供

給型サービスの活用等が挙げられる。農業者の減少を補完するような支援サービスを活用することで、持続的な農業の発展につながると期待している。



〔質問〕被災企業の復旧・復興が本格化していく中で、被災者に寄り添った要望や支援が求められるが、所見を問う。

〈山室商工労働部長〉富山県なりわい再建支援補助金は、これまで延べ367件、約42億7,000万円の交付決定を行い、県内中小企業の施設・設備の復旧は着実に進んでいる。一方で、被害が大きく大規模な復旧工事が必要な事業者に対しては、対策検討や補助金申請に時間を要しており、今後も継続的な募集が必要と考えている。引き続き個別事情に寄り添った支援に努めていく。

〔質問〕熱中症予防対策の義務化についての周知方法と取組促進を、必要経費支援とも併せて問う。

〈山室商工労働部長〉富山労働局と連携して周知に努めており、県土木部などが発注する工事においては現場環境改善費用の上限額を引き上げる措置を行った。今後も、関係機関と連携を図り、県内企業における熱中症対策の徹底と現場への浸透を強力に働きかけていく。

〔質問〕県内における外国人技能実習生の失踪実態をどのように把握し、予防対策についてどのように取り組んでいくのか所見を問う。



〈滑川地方創生局長〉

失踪者数は令和5年で162名、技能実習生の数に占める割合は2.7%となっている。実習計画の認定制や監理団体の許可制の導入、定期的な実地検査等、失踪防止に国で取り組んできたが、加えて県で

も日常生活のサポートに注力してきた。今後とも国の制度検討状況を注視し、関係機関とも連携を図りながら、技能実習の適正な実施や実習生の失踪予防に取り組んでいく。

【令和7年6月定例会】
令和7年6月20日 予算特別委員会

11月 一般質問

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕NHKの朝ドラの誘致に取り組んでいくべきと考えるが、所見を問う。

〈新田知事〉県では富山県ロケーションオフィス（TLO）を設置し、映画制作者との商談を通じて人的ネットワークを築き上げてきた。今後も市町村や関係団体と連携し、美しい景観、食文化、伝統工芸を含めた本県ならではのロケ地として魅力を発信し、朝ドラをはじめとしたドラマや映画の誘致につなげていく。

〔質問〕富山新港における5万トン級クルーズ船誘致促進に向けた整備進捗状況はどうなっているのかを問う。

〈金谷土木部長〉令和6年12月の港湾計画変更により不足する岸壁の長さを補うために係留施設を現在の220mから約300mに変更し、詳細設計を進めている。水深確保のための浚渫^{しゅんせつ}も必要であり、今年度中の工事発注を目指している。

P13



5万トン級のクルーズ船（イメージ）

〔質問〕海王岸壁の整備を見込み、今後のクルーズ船誘致の取組みを問う。

〈宮崎観光推進局長〉

今年5月に海王岸壁に初寄港し、観光やおもてなしに対して乗客からも高評価を得た「ル・ソレアル」と「アザマラ・パシュート」はいずれも、これまでのセールス活動が奏功して実現したものと認識



している。今後は高付加価値旅行者を対象とする中型クルーズ船の船社へのセールスを一層強化し、更なる誘致に向けて取り組む。

〔質問〕県営渡船代行車両における社会実験結果や全国的な船員不足を踏まえ、今後どのように対応していくのか所見を問う。

P13



〈金谷土木部長〉11月16日と23日に渡船を休止し、代行車両のジャンボタクシー代替交通手段を運行した。当日は幾つかの課題は挙げられたが、大きな混乱はなく利用された。11月30日と12月7日には渡船の利用者に代行車両の利用状況などのヒアリングを行っており、社会実験で得られた課題により引き続き地元の方々や射水市と協議し、検討を進める。（代行車両は運転手を除いて、乗車定員が9名、自転車2台、積載可能である。）



『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕放生津八幡宮祭の曳山・築山行事のユネスコ無形文化遺産登録時には、関係機関などと連携して支援し、周辺観光地を含めたPRに取り組むべきと考えるが、所見を問う。

〈新田知事〉ユネスコ登録は関係者にとって大きな励みとなると同時に、各地域の魅力的なお祭りは大切な観光資源であり、地域の更なる活性

化に大いに繋がるものと思う。今後とも国や射水市と連携し、地元関係者の意見を伺いながら、世界に誇れる伝統行事の保存・継承に向けた取組を支援し、県の観光公式サイトや各種 SNS の活用を通して、誘客促進に一層努めていく。

祝 ユネスコ無形文化遺産登録 放生津八幡宮祭の曳山・築山行事



令和7年12月11日、放生津八幡宮祭の曳山・築山行事がユネスコ世界無形文化遺産に登録されました。

〔質問〕射水市内では放生津八幡宮の曳山・築山行事の他にも海老江曳山や鯨神輿、大門の曳山、また曳山囃子の保存など後世に伝えるべき活動があり、県の支援が必要と考えるが所見を問う。

〈広島教育長〉「文化財保存活用大綱」の基本方針に添って、国及び県指定の文化財を対象に支援を行っており、射水市指定の海老江・大門の曳山は、まずは県指定の登録が必要である。今後、射水市による調査結果を踏まえ、県教育委員会で判断する。一方、文化庁においては文化財指定の有無を問わず支援を行っており、活用事例もあった。県としては国



に事業継続を要望すると共に、保存団体からの相談に適切に対応していく。

〔質問〕伏木富山港でのヒアリ確認後の駆除や根絶状況と、今後の港湾での対策を全国発生状況と合わせて問う。



〈杉田生活環境文化部長〉全国では20の都道府県で171件の確認事例があり、伏木富山港では令和7年7月11日に、1,000個体以上のヒアリが確認され、環境省が中心となり防除対策が複数回実施された。10

月3日をもって防除が終了し、10月7日の定期調査でもヒアリは発見されなかった。県は国に協力する立場から港湾事業者に対し、調査協力や発見時の対応周知と射水市とともに県民への周知に共同で取り組む。

〔質問〕広げよう音楽の輪コンサート事業における「ミュージアムコンサート」と「親子で楽しむオーケストラコンサート」の、それぞれの内容と狙いは。また会場施設との連携については、どのように取り組むか。

〈杉田生活環境文化部長〉「ミュージアムコンサート」は、県ゆかりの音楽家を文化施設に招いてミニコンサートを開催しているもので、「親子で楽しむオーケストラコンサート」は、音楽会への参加が難しい親子に気兼ねなく参加していただく目的のものである。会場の使用に当たっては会場とアーティストのマッチング事業を始め、実際の開催は施設管理者と連携し、来館者への配慮や各館の展示物との相乗効果が生まれる工夫を施すなど、県民からの依頼に応えていく。

〔質問〕原子力防災訓練において今年度の訓練成果や課題の検証と、今後の取組みについて問う。

〈中林危機管理局長〉

11月24日の原子力防災訓練では、60機関、約670人の参加を得て、氷見市での実動訓練と図上訓練を行った。今年度の新たな取り組みとしては避難退域時検査支援システムを試行的に導入し、検査結果のペーパーレス化を図った。また鳥取県にて11月9日に行われた同訓練では、本県職員3名がプレイヤーとして参加して検査技術等のスキル向上に努めた。県では今回の訓練の成果や課題を振り返る関係機関の意見交換会を開催し、県民の安全・安心の確保に努めていきたい。



〔質問〕過去5年間の県警察採用辞退者数、辞退率推移と、採用辞退防止政策にどのように取り組むのかを問う。

〈高木警察本部長〉令和2年度17名(20%)、令和3年度16名(18%)、令和4年度18名(17%)、令和5年度24名(24%)、令和6年度31名(37%)。過去5年間の平均が23%と高水準にあり、大変厳しい情勢と認識している。主



な辞退理由は、他都道府県警察や消防などへの就職であった。採用辞退防止施策として内定者説明会や個別面談の実施等を講じ、優秀な人材確保に努めていく。

『産業ビジョン』より 「国際化」を見据えた産業振興について



〔質問〕中国渡航自粛要請による中国からのインバウンドや誘客事業の影響はどのような状況であり、リスク等を踏まえた今後の方針や他国への取組みをどのように考えているか、所見を問う。

〈新田知事〉本県においては、宿泊施設等のキャンセルや富山ー上海便の予約状況の大きな変化はなく、これまでのところ大きな影響は出ていないものと考えている。引き続き状況を注視して、情報収集に努めるとともに、特定の国・地域に限定することなく、インバウンド需要の取り込みに注力する。



〔質問〕 台北臨時便支援事業に期待する効果と、今後のインバウンド誘致強化に対する所見について問う。

〈蔵堀副知事〉 富山県への訪日外国人旅行者のうち最多を占める台湾において、更なる認知度向上と誘客促進を図るため、現地旅行会社へのセールスや情報発信に取り組んできた。また、11月補正予算案において、富山ー台北便の臨時便への支援を行い、より多くの方々に利用していただけるよう取り組み、積極的な情報発信を通じて台湾全域からの更なる誘客に努める。

〔質問〕 新湊漁港における能登半島地震からの復旧・復興に向けて継続的な支援が必要と考えるが、どのように取り組むのかを問う。

〈津田農林水産部長〉 漁港施設をはじめ、漁具倉庫や網干場といった共同利用施設において液状化被害を受けたほか、漁具の損傷・流失や、漁獲高の減少という被害が発生している。このうち、共同利用施設や漁具については、補助金を



活用しながら復旧に向けた取組みが順調に進んでいるが、新たな漁場の利用や予備網の確保等により、漁業者が保有する網の数が増加し、既存の保管庫に収まりきらずに漁具の劣化や破損を懸念する声があがっている。

新たな漁具保管庫の整備は重要であり、今後も射水市と連携して継続的な支援を検討する。

能登半島地震の被災地復興支援

応援飛行 ブルーインパルス

令和7年8月2日、比美乃江公園・海王丸パーク・国分海浜公園・雨晴海岸・瀬浦海岸の上空にてブルーインパルスの展示飛行が行われました。

力強い飛行に元気づけられました！

夢、希望、感動そして笑顔



【令和7年12月定例会】
令和7年12月8日 一般質問

教えて!

県政用語

行為許可 ▶ P6

県有公園は、(散策など) 原則として県民は自由に利用できるが、次のような行為をする場合には県の「許可」が必要である。1. 物品の配布、2. 募金・署名活動・アンケート調査の実施、3. 業としての写真や映画などの撮影、4. 興行の実施、5. 競技会・集会・展示会などの催しの実施。

「ONEFES」の開催は4または5の行為に該当する。



(写真提供: ONEFES 実行委員会)

しゅんせつ 浚渫 ▶ P9

船舶の安全航行などを目的に、河川や港湾などの水底の堆積物を掘削し水深を確保したり水路の形状を調整したりする土木工事。

富山新港は伏木港・富山港よりも水深が浅いとされ、大型船の寄港のためには今後必須の工事である。

回遊性 ▶ P5

店舗や町(ウェブサイト等も含む)などを訪れた人が、その中でどれだけ巡り、様々な場所を見て回ったり、再訪する動きを指す。回遊性が高いほど、ユーザーや顧客の滞在時間が長くなり、それに比例して満足度や購買機会の増加に繋がると考えられている。回遊性の増進は、アルベルゴ・ディフーズにおける主要なテーマである。



県営渡船代行輸送 ▶ P9

富山新港造成工事により分断・廃止された、県道および富山地方鉄道の代替交通手段として、1967年にフェリーの運行が開始。「県民の生活を支える身近な公共サービス」として、越の潟一堀岡間(約770m)を約5分間、運賃無料で運行されてきたが、新湊大橋の開通によりその役割を概ね終えたことと、船員の高齢化や船の老朽化により、維持が困難な状況となり、ジャンボタクシーによる代替輸送が試験的に導入されている。



常任委員会

経営企画委員会の
委員長になりました!

特別委員会

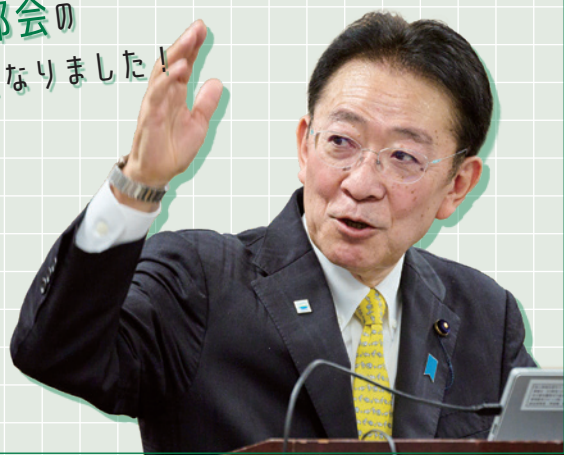
人口未来対策特別委員会
に配属されました!

令和7年3月24日
2月定例会で決まりました

富山県では、2024年に人口が100万人を下回りました。人口未来対策特別委員会は、この人口減少問題に対応するため設置された特別委員会で、自民党富山県議会議員会を中心に14名の委員で構成されています。

自民党政務調査会

企画財務部会の
部会長になりました!





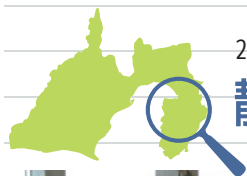
活動 記録

視 察

研 鑽

交 流

常任委員会〈経営企画委員会〉の委員長として、社会の最先端の技術や他県・他地域での先行事例を、やしま自らの目で視察しています！たくさんのものを吸収し、議員としての知見を高め、政治活動に活かしてまいります！



2025.08.05

静岡県伊豆市



【防災】



「海と共に生きる」観光防災まちづくり推進計画について

松原公園津波避難複合施設「テラッセオレンジトイ」を視察し、海と共生する環境の中で、観光と防災を両立させる取組みについて視察しました。



2025.08.05

東京都豊島区



【防災・民間活力】



防災・減災機能を備えた都市公園について

としまみどりの防災公園（IKE・SUNPARK）にて、防災・減災機能を備えた都市公園のあり方について視察しました。



2025.08.06-07

群馬県

群馬県前橋市を訪問し、県の総合計画策定、高等教育、大規模水害対策を兼ねた防災施設について視察を行いました。

【高等教育】

前橋工科大学／高大・地域連携について

【防災】

新町防災アリーナ／防災機能を備えた体育施設について（大規模水害対策）



【総合計画】



群馬県庁／新・群馬県総合計画策定経過について



2025.10.25-10.31

フランス視察



自民党の企画財務部会でフランスを視察し、モン・サン・ミッシェルやユネスコ本部、「世界で最も美しい湾クラブ」本部を訪れ、世界遺産や景観保存の取り組みについて学んできました。



2025.11.04

全国日台国際交流大会

「IZA(いざ)鎌倉」



富山県日台友好議員連盟の事務局長として、鎌倉市にて開催された「第11回日台交流サミット」に参加してきました。式典・サミットへの参加、交流会、エクスカッションを通して、日台の友好の絆をより深くすることが出来ました。

2025.11.19-11.22

台湾視察

日台交流の一環として台湾の台南地区を訪れ、新たな旅行需要の調査・研究を行ってきました。



出前授業

2025.01.23

富山県



高校で「先生」になってきました



複数の県議が県内の高校を訪問し、学校や地域をより良くする取り組みなど、身近なテーマを基に議論や意見交換を行う出前授業を行っています。高校生が、県議会の役割や民主主義について幅広く学べる機会になっています。

やしまの県議会での質問・提言が新聞で取り上げられました！

- ◆「予算特別委員会」委員内定
(R7 年 2 月県議会定例会) (2 月 28 日付 北日本・富山新聞)
- ◆「海王丸修繕計画は・海王丸修繕に CF 活用提案」
(予算特別委員会) (3 月 12 日付 富山・北日本新聞)
- ◆「海王丸パーク 魅力向上へ民間活力導入」
(予算特別委員会) (3 月 12 日付 北日本新聞)
- ◆「県立高再編 大規模校議論『丁寧』」
(教育警務委員会) (3 月 22 日付 富山新聞)
- ◆「人口未来対策特別委を新設・正副委員長を互選」
(3 月 25 日付 北日本・富山新聞)
- ◆「射水の子どもに台湾パイナップル R&T グループ奇贈」
(5 月 14 日付 富山新聞)
- ◆「予算特別委員会」委員内定
(R7 年 6 月県議会定例会) (6 月 13 日付 北日本・富山新聞)
- ◆「信号機老朽化率問う・下水管緊急調査」
(予算特別委員会) (6 月 21 日付 北日本新聞)
- ◆「下水勘調査、対象 3.4 キロ・外国人の消防団員は」
(予算特別委員会) (6 月 21 日付 富山新聞)
- ◆「万葉線なども通学定期対象、フリースクール」
(予算特別委員会) (6 月 21 日付 富山・読売新聞)
- ◆「再開発で県赤坂会館 28 年度に引き渡し」
(経営企画委員会) (6 月 26 日付 富山新聞)
- ◆「富山トラフの影響想定、断層調査、反映を検討」
(経営企画委員会) (9 月 4 日付 富山新聞)
- ◆「職員のパワハラ昨年度相談 12 件」
(経営企画委員会) (9 月 30 日付 富山新聞)
- ◆「富山県議会議員書道クラブ作品展」
(議員書道クラブ) (10 月 30 日付 北日本新聞)
- ◆「県議会予算特別委員会・理事」(12 月 3 日付 北日本・富山新聞)
- ◆「新湊の曳山祭支援せよ」(一般質問) (12 月 9 日付 北日本新聞)
- ◆「朝ドラの誘致に期待」(一般質問) (12 月 9 日付 富山新聞)
- ◆「新川こども施設命名権者を募集」
(経営企画委員会) (12 月 16 日付 富山新聞)

※全て R7 年掲載分、順不同

数字で見る

やしま浩久の活動と軌跡

定例会での質問数 (一般質問)

令和 3 年	15
令和 4 年	26
令和 5 年	28
令和 6 年	27

令和 7 年
13

定例会での質問数 (予算特別委員会)

令和 3 年	36
令和 4 年	14
令和 5 年	14
令和 6 年	12

令和 7 年
27

常任委員会での発言数 (県土整備農林水産委員会)~R5.2

令和 3 年	21
令和 4 年	21
令和 5 年	7
令和 6 年	—

令和 6 年・7 年は委員長のため議事進行しています。

やしま浩久の 年齢

(R8.1.29 現在)
62

スマホの 連絡先 登録数

(R8.2.1 現在)
3127

ご縁に
感謝します！

episode エピソード 寛政丸航海誌

一家業・八島倉庫の歴史

かつて北前船の往来で栄えた新湊地域。やしま浩久の政治資金管理団体および本紙のタイトルにも使わせていただいた「寛政丸」とは、そんな北前船の主力船の一隻の名前で、同時に現在のやしま浩久の生業でもある八島倉庫のルーツとも言えます。

八嶋家古来の言い伝えによると、「寛政丸」は 600 石の船であり、今で言う 10t トラック 9~10 台分の物量を積載し運搬していた船です。富山(新湊・放生津)からは鳥取(境港)へ向かうルートと北海道(函館・小樽・余市)へ向かうルートが運航されており、各地の寄港地で米や肥料、薬草、昆布等の海産物・加工品、布や織物等を積みながら、日本海側をくまなく行き来していたようです。

600 石という大きな荷物を、陸路よりも遙かに不安定な海上で運んでいた、当時の船大工の造船技術や船員達の航海技術の正確さには改めて感動させられるばかりですが、現在も寛政当時の思いはそのままだに、お客様の大切な荷物を預かり、運ぶ心構えは時代を越えて普遍的なものがあります。

そんな寛政時代の先達に思いを馳せ、どんな荒波にも挫けずひたすら前進する覚悟を、「寛政丸」という名に込めました。「寛政丸」の航海が前途洋々たるものとなるよう、精いっぱい県政に邁進いたします。



いつでも! どこでも!
皆様のお声を聞かせてください!
お気軽に
お声掛けください!



県政報告は動画でもご覧いただけます!

やしま 浩久

〒934-0001 富山県射水市庄西町 2-4-16
TEL.0766-92-1613 FAX.0766-92-1633
ホームページ URL <https://yashima1613.jp>
E-mail yashima1613@gmail.com

紙は、雷鳥コートを使用しています (R8.2.1 発行)